

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和3年度学校評価計画

達成度(評価)
A: 十分達成できている
B: おおむね達成できている
C: やや不十分である
D: 不十分である

学校名	唐津市立打上小学校
-----	-----------

1 前年度 評価結果の概要	・コロナ禍のため、グループ活動や集会等ができず、学習や体力づくり、4校連携等への影響があった。しかし、それぞれの場面で様々な工夫をすることで対処できたおかげで、すべての項目で「十分達成」か「おおむね達成」と評価された。ただ、アンケート結果で、保護者と児童の意識の差が見られた。教職員・保護者・児童・地域の連携をさらに強め、学校教育目標の実現に向けて取り組みたい。
------------------	---

2 学校教育目標	学ぶ力とかかわる力を持ち たくましく生きる子どもの育成
----------	-----------------------------

3 本年度の重点目標	① 学力向上「一人一台端末活用の推進」「創造性を育む学びの推進」 ② 豊かな心「人権教育の推進」「考え、議論する道徳の実践」 ③ 健康・体づくり「立腰による良い姿勢」「早ね・早起き・朝ごはんの推奨」「外遊びの奨励」
------------	---

4 重点取組内容・成果指標				中間評価		5 最終評価		主な担当者	
(1)共通評価項目				中間評価		最終評価			
評価項目	重点取組	成果指標 (数値目標)	具体的取組	進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果		学校関係者評価 評価 意見や提言
●学力の向上	●全職員による共通理解と共通実践	●学力向上対策評価シートに示したマイプランの成果指標を達成した教師80%以上	・教職員間でマイプランを共有するとともに、校内研修等により取組の促進を図る。						学力向上(浜中) 校内研究(小形)
	◎自らの夢や目標の実現に向けて努力する気持ちを高める教育活動の推進	◎自らの夢や目標の実現に向けて努力する気持ちがあると答えた児童80%以上	・行事や授業を通して、自分の夢や目標について考える場面を設ける。 ・「なかよし学習」を進め、毎時間振り返らせることで、達成感や自分の成長を感じさせる。						進路指導(田代) 学力向上コーディネーター(鶴田)
●心の教育	●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	●道徳授業の充実と支持的風土の学級経営により、人権意識や自己肯定感、規範意識の涵養が出来た児童80%以上	・道徳科の授業づくりに関する校内研修等の実施 ・児童の実態に合わせた内容を取り上げ、身近な問題として考えさせるようにする。						道徳(永田) 生活指導部(諸岡)
	●いじめの早期発見、早期対応体制の充実	●いじめ防止等(いじめの定義、いじめの防止等のための取組、事案対処等)について組織的対応ができていると回答した教職員80%以上	・なかよしアンケートを毎月実施し、いじめの早期発見・早期対応に努める。 ・日々の児童観察を大切に、アンケートに表れていない面についても、気になることの早期発見・早期対応に努める。 ・毎月の生活指導協議会で対応の仕方を協議し、組織的な対応を行う。						生活指導(浜中) 教育相談(宮寄)
	○特別活動による自主的で実践的な態度の育成	○「よく見る・よく聞く・よく考える」を合い言葉に、学習や活動に真剣に取り組むことができた児童80%以上	・活動の前にもめあてを確認し、意識させ、活動の後には振り返りの場を設けて、頑張りが協力者の視点で発表させたり、まとめたりする。 ・授業中の友達の発言をしっかり聴くよう指導し、話す人も相手を意識させる。						特別活動部(吉田・岡本)
●健康・体づくり	●望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成	●「健康に食事は大切である」と考え、「早寝早起き朝ご飯」を達成できた児童80%以上	・保護者への啓発と児童への声かけを頻繁に行う。						保健体育部(宮崎・宮寄)
	○体力向上を意識した取り組み	○アンケートで「元気に外遊びや体力づくりができた」と答えた児童80%以上	・体育の行事や授業の中で、児童一人一人がめあてを持って体力向上に取り組むことができるようにする。 ・外遊びを日常的に促す。						保健体育部(田代・小形)
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外勤務時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外勤務時間の上限を遵守する。 時間外勤務時間:月45時間以内、年360時間以内	・定時退勤日(毎週金曜)の退勤時刻を守る。 ・学校閉庁日の設定 ・業務の効率化と分散化を図り、質の高い業務内容を目指す。						事務(教頭) 事務(横内)
(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目				中間評価		最終評価		主な担当者	
評価項目	重点取組内容	成果指標 (数値目標)	具体的取組	進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果		学校関係者評価 評価 意見や提言
○ICT利活用教育の推進	○一人一台端末活用の推進	○一人一台タブレットを活用できた児童と教師80%以上	・教職員間でタブレットの活用法を共有するとともに、校内研修等により取組の促進を図る。						

●…県共通 ○…学校独自 ◎…志を高める教育

5 総合評価・次年度への展望	
----------------	--